

学校法人 東京滋慶学園 ベルエポック美容専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【2023年4月16日実施】

学校関係者評価委員氏名【委員集約資料】

2022年度自己点検自己評価(2022年4月1日～2023年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
1 教育理念・目的・育人 材像	1 理念・目的・育人人材像	2	<p>学校運営にあたり、一番大切にしていることが、ミッションと理念である。これを基に、時代、業界の変化に対応し作成している事業計画があるからこそ、健全な学校運営ができていく。事業計画で考える中期計画は、学校の未来を表現したものであり、そこで考えられた組織目的、運営方針、実行方針、実行計画が学校の成長につながってきた。</p> <p>また理念、経営者の言葉、学校の考え方や組織文化を、さまざまな形で文書化し、組織内に浸透させるとともに、新たに組織に入ってくる人にも外部にもわかりやすく示していくことにより力を注いでいる。このことが、学園、学校の活性化につながっていると考える。</p> <p>学生、保護者、業界へも理念、教育方針を伝えているが、より一層、保護者の信頼、理解を深めるために、入学時の保護者会に加え、進級時などにも実施が必要だと考える。学生に対し、フロー教育で、目的、求める人物像を理解させていく。</p>	<p>業界の変化に対応するため、育成人材の見直しは、常にかつ組織的に行われなければならない。本校では、その専門職として、ファカルティ・ディベロップメント・コーディネーター(※)を置き、育成人材像から学科の教育内容の見直しを行っている。</p> <p>※ファカルティ・ディベロップメント・コーディネーター(FDC)</p> <p>専門学校の教育の構成要素</p> <p>①養成目的と教育目標(社会ニーズと卒業時到達目標)</p> <p>②目標達成プロセス(カリキュラム・学年歴・時間割・シラバス・コマシラバス)</p> <p>③目標達成素材(教科書・教材・教育技法)</p> <p>④目標達成支援人材(担任・専任教員・講師)</p> <p>⑤評価基準(透明性・公平性・競争性)を学校・学科の独自性・有効性に役立つように改革する核となる人材。</p>	2.8	<p>教育理念に基づき実践的に取り組んでいるのを感じる。学校の理念を学生、保護者、教員へ共有が出来ている。トレンドが変わりやすい美容業界において教育内容を見直し改善を続けていく事で学生にとって良い環境だと感じた。実践的なカリキュラムを多く導入している事で自然的に学生の競争心と焦りを感じさせ、良い方向に進んでいると感じた。学校運営の根幹と礎となる教育理念が、時間軸や横の繋がりが軸でしっかり構築されている。その確固たる教育理念が、学内だけでなく周囲(保護者、業界、原宿近隣)にも浸透していくような情報発信を期待したい。</p> <p>滋慶学園の建学の理念である、実学教育・人間教育・国際教育にそった教育を心掛けています。また学生・保護者からの信頼・高等学校からの信頼・業界からの信頼・地域からの信頼に必死で応じる姿勢があります。</p> <p>社会のニーズ・環境の変化に敏感な学校ですから、必要とされる人材を世に送り出して下さい。</p>
2 学校運営	2 運営方針	3	<p>法人としては、事業計画・運営方針を定めることを最も重要視しており、事業計画・運営方針を定めている。</p> <p>明文化、文章化され定められた事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての人に周知徹底すること、そして、共感してもらうことに、年間通じ力を入れている。理念、方針の浸透を深めるため、各種の研修(教職員・講師)、会議(運営会議・学科会議・課別会議等)を行い、全教員が納得して学校運営に携わる環境作りをしている。このことが、学校・学科の教育成果に繋がっていると考えている。常に市場ニーズに対応した事業計画・運営方針をこれからも作成するよう努める。</p>	<p>学校運営をマネジメントシステムの準備(計画)と実行として捉え、マネジメントスキル、知識、そしてリーダーとしての研修を重視している。マネージャーは組織運営者であることを前提としている。</p> <p>また、経歴の浅い教職員が多くいる為、毎月1回の全体会議で教務研修を実施し学園・学校の理念周知の為に研修を実施するとともに、OJTやONOを通して、実践的に行っていく。</p>	2.9	<p>大変良い運営と、取り組みをしている。学校全体で方針が明確でそれに向けて職員が取り組んでいると感じた。窓口が大きく開いており、提案から導入までの決定も早くベンチャー企業のようなスピード感のある運営が素晴らしい。結果それが学生にも浸透し新しいものを生み出す糧となり、生き生きとした人材を育てていると思う。非常にシステマティックに、かつ学校全体で決定しているように感じた。今後も時代に即した学校運営が求められるので、柔軟な取り組みとなるべく多くの関係者の意見が集約されるようなシステム作りが重要になると思われる。</p> <p>学校運営は滋慶学園本部の理事会・評議会さらには学校運営会議・戦略会議を経て学校全体会議・学科や部署会議が行われ、経営方針や運営方針が教職員全体に周知される体制が整っています。</p> <p>働き方改革で職員の人事、給与や評価も以前とは違っている現状がありますが、かなりの努力成果があると思います。</p>
	3 事業計画	3	<p>法人としては、事業計画・運営方針を定めることを最も重要視している。その意識で毎年、法人として事業計画・運営方針を作成している。事業計画を立てること、運営方針を定めることは、常に同時に考え、実践している。明文化、文章化され定められた事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての人に周知徹底すること、そして、共感してもらうことに、年間通じ力を入れている。</p>	<p>事業計画を教職員が自主的に計画し決定し全員で共有する。その上で職場運営が実行に移されていく。</p> <p>その運営のチェック機能として、①学園の常務会議、②学校ごとの戦略会議(運営責任者会議)、③運営会議(学科責任者会議)、④学科会議、部署会議があり、計画遂行の確認をする。問題点を早期に発見し、対策を立て、実行するプロセスを確立している。</p>		
	4 組織運営	3	<p>理事会、評議員会を定期的に開催し、必要な審議について議決を行っている。学内の意思決定に関しては、重要事項の優先順位と対応する機関が明確である。毎年事業計画策定という厳しい作業があることで、目標志向性の高い組織運営が行われている。</p>	<p>理事会、評議会、議事録作成、寄付行為は、法人が運営する複数の学校と連携し、合理的に作成、管理する。</p> <p>会議については下記2点を重視している。</p> <p>①会議の進行ルール</p> <p>②議題発信と議事録配布・保管のルール</p>		
	5 人事・給与制度	2	<p>採用計画、人材育成計画は事業計画で定められている。</p> <p>採用にあたっては、学園本部が中心となり、採用広報や、採用試験を実施している。採用は採用基準の基、厳正に実施している。その後の教職員の育成には、もっとも力を入れている。目標管理制度を基本とし、これに対応して成果主義を取り入れた賃金制度を設けている。多様化する働き方の中で、より一層、それらに対応した制度が必要。</p>	<p>数字目標を達成する過程の業務や、数字だけでは評価できない業務は情意効果として評価している。</p> <p>目標は常に、健全な学校運営・学科運営を実現できているかという視点で立て、評価も公平に行い、学校・学科の成長と教職員の成長に結びつくようにしているマネジメント職と専門職での人事制度を構築中である。</p>		
	6 意思決定システム	3	<p>意思決定システムは事業計画において明文化している。意思決定を行う会議の進め方、結果の取り扱いを重視している。</p> <p>また会議毎に参加者は選抜され、その中で各リーダーに権限は委譲されている。</p>	<p>会議は</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法人理事会・評議員会 最高決議機関 2. 学校戦略会議 運営方針の起案会議 3. 法人学校運営会議 運営方針の問題を発見・対策立て会議 4. 運営会議 学校の目標達成に向け、発生する問題解決会議 5. 学校全体会議 決定事項の周知、教務研修の実施 6. 学校学科会議・部署会議 部署の問題解決会議 7. グループ各委員会会議(広報委員会・総務人事委員会・就職委員会・国家試験対策委員会・学科別教育研究委員会) 		
	7 情報システム	2	<p>業務効率化は進んでおり、職員の残業時間も年々減っている。</p> <p>効率化された部分は学生対応に充てられている。</p>	<p>様々なシステムで状況共有、業務効率、管理を行っているが、今後データの一元化が課題であり、学校、法人として取り組む必要がある。</p>		

学校法人 東京滋慶学園 ベルエポック美容専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【2023年4月16日実施】

学校関係者評価委員氏名 【 委員集約資料 】

2022年度自己点検自己評価(2022年4月1日～2023年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
3 教育活動	8 目標の設定	3	教育指導要領に基づき、学園の教育理念に沿った教育を実施している。教育課程編成委員会のご意見を基に毎年カリキュラム更新もを行っている。	学科の特性を加味し、毎年見直しを行い、養成目的、教育目標を明示している。	2.3	就職後技術はサロン、会社ごとに改めて学ぶがマナーや社会のルールは身につけている前提とする為在学移駐に美容業界のルールなどを学べる環境があると良い。また最新のトレンドはもちろん大事だがプライダル業界は特に伝統や基礎知識・技術が必須とされる場面があり、トレンド以外にも広く学べる授業が必須と感じる。現場での評価を最大化するのは、社会人としての基礎的な動きができるかどうか重要。これは事前知っておけばすぐに実践できる事ばかりなので、パフォーマンス授業として組み込み、動きをルール化する事が大切になる。ただ教えるだけの一歩通行ではなくやる・やらないで与える印象がどう違うかなど、心理的観点も添えて日常に染み込ませる事が重要と感じる。教育指導要領に基づき、長期的な視点にたった教育活動が行われていると感じた。特に専門学校生は資格取得が日々の重要なモチベーションに繋がると思われるので、資格に関する分野で更なる指導体制の強化とフォローアップに期待したい。学生の成績評価や単位の認定は学生便覧で公表し、規則細部にしたがって公平に行われています。また授業改善や学校の改善も、教育課程編成委員会の提言や業界のニーズを考えたキャリア教育がされています。今後の課題は国家資格の合格率を上げて向上するためにも、新入学生の質の向上を図ることだと思います。
	9 教育方法・評価等	2	養成目的・教育目標を明確にした人材育成を行っている。今後はキャリア教育やクラス形成に力を入れて、目的意識喪失による退学防止などにも反映していきたい。職業観の植え付けが重要である。	養成目的 教育目標 担任マニュアル 学生サポートブック クラス事業計画		
	10 成績評価・単位認定等	2	成績評価・単位認定については、教育指導要領と学生便覧に明記している。それらに基づき、評価・認定を行っている。また実技授業などの評価に関しては、点数配分を可視化や、ルーブリック評価を用いる等で明確化に努めている。	教育指導要領 学生便覧		
	11 資格・免許取得の指導体制	2	資格取得に向けては、全員現役合格をさせるために低学力・低技術者のフォローをどのようにやっていくかがポイントになる。国家試験不合格者については今夏国家試験受験をサポートしている。どの資格においても不合格者のモチベーションが課題となっている。	再支援プログラム		
	12 教員・教員組織	2	法律に則った教員配置はできている。教授力の低い講師は高い講師とOJTを組み教授力向上に努めている。学科ごとに特徴が異なる為、それぞれに合わせた取り組みを行う必要があるIT、デジタルなどを取り入れた教育を向上していく。	講師会議 学科ごとの科目連絡会		
4 学修成果	13 就職率	2	就職率は、学科ごとに目標を設定しており、「就職活動状況表」のデータで学生一人ひとりの状況を確認している。就職講座では、職業理解を深めるために、アーティストによるトップサロンセミナーを定期的に開催。学内説明会も積極的に実施中。データはキャリアセンターが管理。採用活動の早期化により、就職活動の準備が前倒しになってきている。7月末で60%程度の内定率になったが、そこに漏れてしまった学生の就職先をより多く確保できるようにしなければならない。	採用活動の早期化が伺える。美容業界では、特に、美容部員・エステティシャン・美容師がその対象で、早期インターンシップ等も行う企業が増えている。通常6月以降が主な採用活動時期であったが、現在では早い企業で3月中に選考を行う企業も増えている。	2.2	早期から就職を意識させているのは良いと感じた。採用試験のサポートがしっかりしている。卒業後も学校と卒業生がつながりを持つことは学校の発展に重要となってくる。学生時代は「本当に必要なのか？」と感じる場面がどうしてもあると思うので、合格率を上げるために資格ごとの必要性を伝えるのも良いのではないかと。有名な会社や、よく目にする会社だけでなく、様々な就職先があり、会社ごとの特色があることを早い段階から知れる環境があると良い。昔と違い、自己発信の方法やクリエイターとしての成功パターンが多角化した現代において、少ない情報やきっかけにすぎた就職競争は、不安をおおるだけでなく、どうしても目標点、着地点が低くなってしまふと感じる。在学生が卒業生へ取材をしたりする取り組みなど良いのではないかと。成功例だけでなく、失敗例も含めてせきさらな情報を集約させ、オープンに伝えていく事で、自分が気が付かなかった強みや可能性を再認識し、自分だけのアプローチ方法を見つけられると感じる。今の自分に自信を持ってもらうこと。順ずるのではなく、異なることにこそ勝機がある事を知ってもらう機会にして頂きたい。就職率や資格・免許の取得率は安定して入学希望者を集める上で非常に重要な指標になる。この状況を維持・向上させるために、担当部署・担当教員だけでなく、学校全体で目的意識の共有とそれに向けた取り組みが必須となる為、今後も更なる組織体制の強化が望ましい。就職率の向上だけに眼を向けると、卒業後1～3年後の離職率が高くなり結果的に『あの学校の学生を採用してもすぐに辞める』と評判を落とす結果になりますから、学生が本来希望する企業・お店に就職できる就職キャリア教育が重要です。学校関係者評価委員会が訪問した時に、登校してくるすべての学生に笑顔がありました。これは学校が楽しく良いところだと証明する大きな財産です。これらも大切にしてください。
	14 資格・免許の取得率	2	定期的に模擬試験を開催し低技術、低学力者に対して早い段階で補習授業を開講している。合格率については全国平均と比較している。学科により多種多様な資格取得を目指す、全員合格できていない現実がある。専門学校で「資格」は大きな意味合いを持つので、合格率向上に努める必要がある。	国家試験に関しては筆記試験に関してのモチベーション低下、出席率が低いことが課題。		
	15 卒業生の社会的評価	2	近年では、サロンがSNSでスタイリストデビューの告知をするなど、個人で発信する機会があるが、全員がSNSを発信しているわけではない。卒業生との関係性を継続するために、LINE等でつなぐ取り組みもしている。特にサロンにおいては独立開業する卒業生がはじめており、学校から祝い花を贈呈する取り組みもしている。	・入学案内の卒業生ページへの掲載 ・美容専門誌: チェキチヨキ × ベルエポック美容専門学校の発行 ・同窓生向ホームページの拡充		

学校法人 東京滋慶学園 ベルエポック美容専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【2023年4月16日実施】

学校関係者評価委員氏名【委員集約資料】

2022年度自己点検自己評価(2022年4月1日～2023年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
5 学生支援	16 就職等進路	3	就職支援の指標として、就職内定率と合格率があるが、コロナ禍の前まで回復及び、過去最高数字となっている。今後も同様なパンデミック状態にならない限り状況は回復し続けると予想している。	受験した学生が記入している「採用試験報告書」を取りまとめ、年度の傾向と対策を授業内で実施している。また学生が閲覧しやすいシステムを構築。	2.2	近年の専門学校は学内だけではなく学外サポートの充実内容も学校選びの大きな基準になっているのではないかと感じた。学校側の負担は今後も増すばかりだが、安定した入学希望の人数を集めるために、また中途退学率を極力下げる為にも非常に重要な取り組みになると感じる。 留学生との交流、映像の学校とのコラボ、ダンスや芸能の学校とのコラボ、看護学校(福祉)とのコラボなど、滋慶学園グループにしかできないシームレスな連携授業(異種交流)を取り入れていく事を検討して頂きたい。 社会に出てつながりやすい業種を学生のうちから交流させておく事で、見聞を広げるのは勿論、中長期的視野で学生から社会人の縦ラインの基盤をつくっておくのはグループの盤石化にも効果的だと思ふ。 在校生の不安に対し、真摯に泰宇していると感じている。また担任だけではなく、学校全体で学生サポートしている。小・中・高と不登校の生徒が増えている中、中途退学者率は良いとは言えない状況ではあるが、一人ひとりに対し良く対応している。学生の学んでいる様子や職員と保護者の意見交換ができる機会がある事で更に家庭におけるサポートのきっかけになると感じている。 コロナ禍、コロナ明けを経て変化のある毎日の中、今後いおいても「今」にあった学生との距離感、関わり方をしていく必要があると感じた。学生相談室については、直接対面で話すのが苦手な学生もいる為、非対面で相談できる仕組みがあると良いと感じた。進級率については、1年生前期が大切だと感じる。 滋慶グループの慶生会クリニックでの健康チェックが困難であったり、都内の学校のために寮や民間の居住すべき場所も高額になったりする部分は仕方がないこととす。 カウンセラーの活用、相談窓口の充実を期待します。
	17 中途退学への対応	2	2022年度中途退学率は昨年より増加した。コロナの中でも登校授業を全面的に展開し、学生の技術向上を図ったが、早期に集団に対する適応不全が発生したケースが見受けられた。今後はそのフォローも必要になってくると感じている。	クラス事業計画作成を各担任が作成し、クラス運営を行う。		
	18 学生相談	2	学生の各種相談に対応できる体制を整えている。学生の相談内容が広域になり対応の際に専門的知識を伴うケースが多いため、スクールカウンセラーや留学生担当の職員の配置など対応できるようにしている。	SSC(スチューデント・サービス・センター)と連携をして学園として学生相談室を設置しているが、利用率が低いため、積極的に利用を促す。 留学生担当教員は東京都専修学校各種学校の主催の「留学生受入れ担当者研修」を受講し、受入れ担当者の資格を取得できるようにしている。		
	19 学生生活	3	奨学金利用や健康管理、学生寮、サークル活動などを学生の生活支援の一環として実施している。養成像との直接の関わりはないが、美容分野への就学の機会や学校への帰属意識、学科・学年を超えた関係性の構築となり中途退学の抑止につながっていると思われる。	公的奨学金(日本学生支援機構・東京都育英資金) 医療機関 一人暮らしサポート サークル活動		
	20 保護者との連携	2	学校について関心を持たない保護者に対してのアプローチをどのようにするかが大きな課題となっており、中途退学率にも影響している。	保護者会等も実施しているが、左記に記載しているような保護者の参加が見込めていない。		
21 卒業生・社会人	2	卒業生に対する支援体制は同窓会と就職サポートの2点になる。卒業生に対しては、モデルの協力や施設の貸出しなどを提供することで、卒業生のキャリア開発の一躍を担っている。今年度はコロナ禍だったため、対面によるセミナーなどは開催できなかったが、同窓会組織を再構築して、卒業生に対するリカレント教育の場を提供する予定。	滋慶学園グループとして、多くの職種を育成しているため、美容以外の分野についても学び直すことが可能。			
6 教育環境	22 施設・設備等	2	実習授業に力を入れている本校にとって、学内実習室が実際の現場で使われている設備を揃えていることが、必要不可欠である。実践教育のための学内施設、設備は整備されていると考えている。 各教室、実習室は、各種の申請に必要な条件を全てそろえた環境として、承諾を得ている。	経年劣化の破損頻発箇所について修繕を実施。 経年劣化した備品については更新をしている。	2.7	学内で現場に近い環境で学べるのは非常に良い。在学中に実際に体験できるのは今後の糧となる。好き・嫌いにこたわられることなく体験できる環境があるのは選択しを広げるきっかけとなり良いと感じた。 海外向けの発信基地となって頂きたい。原宿文化やアニメ・コスプレ・アイドルが世界的評価されている昨今、グローバルなネットワークの構築を図り、在校生に世界を近く感じてもらい国際交流を通じて若者にしか出来ない新しいエンタメを生みだしていただきたい。 実習室の環境整備は非常に重要な事項である為、今後も時代にマッチした実習室作りが必須だと感じる。また、国際教育なども将来的に避けられないテーマになってくる。新たな取り組みに期待したい。 設備施設は充実しています。不安は大規模な災害が発生した時に帰宅困難者の対応かと思われます。 都会の一等地に立地する学校です。学外学習やインターシップでも他の学校が羨む環境にありますから、この立地条件を最大限に活かせば教育環境はさらに良くなります。
	23 学外実習、インターンシップ等	2	異国の文化・考え方を学ぶことができる国際教育は学生の将来にも大きな影響を与える。その学びをオンラインでも深められるような工夫をさらにしていきたい。	海外とつないだオンライン特別授業実施		
	24 防災・安全管理	2	防災、火災訓練を実施し、学生、教職員、講師へ非難手順や方法を指示し実施している。 救急時における知識の習得と意識付けは出来ている。 職員向けに消防訓練や防水板設置の講習を行っている。 AEDを各校舎に設置し使用方法の研修を職員間で行った。	・防災訓練の映像化(DVD)がされており、学生・教職員・講師全員が視聴し、防災の意識を高めている。 ※学生避難経路確認 ・AEDの全校舎設置 ・各校舎入口に検温器と消毒液の設置、各教室に消毒液の設置を行い、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をしている。		
7 学生入 れ募集 と受け	25 学生募集活動	3	学生募集活動は、学則を基に、その年の入学案内、募集要項の通りに適正に行われていると考えている。	顧客となる「原宿が好き、美容が好き、ファッションが好き」の高校生を対象に、その顧客にあった価値を提供している。(価値:原宿コラボレーション) 授業内容や体験授業でその体験化を図り、入学前教育として職業の理解を深めてもらえるように努め、HPやスマホ、SNSなどで多くの人に見てもらえるように情報発信に注力している。	3.0	学校の特色を上手に活かした学生募集が出来ていると強く感じる。学校運営の基となる学生数の維持・確保に向けた学校全体での取り組みは他学園・他校との差別化につながり、今後も更なる入学希望者数の増加が見込まれると感じている。 多数の学校がある中、SNSの発信と友好活用により自分に合った学校へ進学する手助けが出来ている。 最高の立地条件にある学校ですから、他の学校に比べると学生募集は比較的順調です。入試の選考も学校長・事務局長・学科長を中心に厳正に公平に行われており何ら問題はありません。 ただ今後は18歳人口が急激に減少し、都内に流入する近隣の学生も、都内の学生も減少傾向にありますから、募集の範囲を広げた対策が望ましいと思います。
	26 入学選考	3	入学選考の基準は明確に定められ、適正に入学選考が行われている。入学者数の予測を踏まえ、財務を考えている。	AO、高校推薦、一般と志願者に合わせた選考を適正に行っている。		
	27 学納金	3	学納金については算定の内容を明確にしておりかつ毎年見直しを行い決定している。入学辞退者の授業料の扱いも文部科学省の通知趣旨に則って行っている。	入学金、授業料、諸費用を分けて学費徴収することで、教科書・教材費に関して無駄な費用請求を無くしている。 入学辞退者に関して3月31日までの申請に関しては、授業料を受験生に返還している。		

学校法人 東京滋慶学園 ベルエポック美容専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【2023年4月16日実施】

学校関係者評価委員氏名【委員集約資料】

2022年度自己点検自己評価(2022年4月1日～2023年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価		自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価		学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1				優れている…3 適切…2 改善が必要…1		
8 財務	28 財務基盤	3		短期・中期・長期の収支計画を立て財務状況の健全維持に努めている。収支・キャッシュフローの状況についても適宜確認できるようになっている。学外に学校会計を担う株式会社があり財務面での処理については中立公正の立場で会計処理を実施しているのも不正行為も未然に防げるようになっている。	学校法人東京滋慶学園財務諸表	2.9	安心して通える学校だと感じた。卒業生や在校生にとって母校は大切な場所となる為今後も長く続く学園となる事を願っている。安定した財務基盤が安定した学校運営に繋がっていると感じた。法改正にも柔軟かつスピーディーに対応されており非常に優れた体制が整っている印象を受けた。滋慶学園グループ約80校・学生総数38000人を誇る学園全体の財務管理は、法人監査さらに会計士税理士の指導で的確に運営されています。各学校もその組織の一員としてしっかり5カ年計画の中に組み込まれ予算・収支状況も管理されています。経営が困難になってきている他の法人から見ると羨ましい財務体制です。	
	29 予算・収支計画	3		厳しいチェック及び評価が行われ、いわゆる債務超過になったり、資金不足になったりする状況にはなっていない。そのため、中長期的には財務基盤は安定し、本校の学校運営も安定していると考えている。5カ年計画に基づいた収支計画は中長期的な視点で物事を考えることができるため、財務基盤の安定に資するための大規模な計画もじっくりと立てることができ、この方針は今後も続けていくと考えている。	本部による財務状況のチェックを毎月受けている。また監事及び公認会計士による監査、行政への報告などを行っている。			
	30 監査	3		現在のところ、監査報告書は適正な計算書類を作成している旨の意見が述べられており、適正な計算書類を作成していると考えられる。監査を有効に実施してもらうために、証書類の整理、計算書類の整備、各種財務書類の整理整頓に努めている。	私立学校法上義務付けられている「監事による監査」を受けているが、それに加えて、補助金対象ではない当学校において「公認会計士による監査」も受けている。これによって適正な計算書類の作成とその信頼性の確保に努力している。			
	31 財務情報の公開	3		財務情報公開の体制整備は平成17年4月1日には終了し、体制はできている。学園の特徴は、法改正の変化に迅速に対応できる機動力である。今後ともどんな法改正にも迅速に対応していくと考えている。	「財務情報公開規程」「情報公開マニュアル」によって、秩序整然たる順序に基づいて情報公開に対処している点が特徴として挙げることができる。			
9 法令等の遵守	32 関係法令、設置基準等の遵守	2		法令や設置基準の遵守に対する方針は文章化し、法令や設置基準の遵守に対応する体制作り平成18年度で完全に整備させた。また、教職員の啓蒙として、法令や設置基準を遵守に対する教育または研修を、定期的に実施している。	監事による毎年の監査に際して、業務監査の対象としてコンプライアンスの実施状況についても監査してもらっている。	2.9	コンプライアンスの精神にのっとり、適正かつ透明な法令等への取り組みがなされている。個人情報保護は学生数が多くなるほど重要課題となってくるため、今後も学校全体で慎重なルール策定等が必要になってくると思われる。情報公開がきちんとされているのが安心になる。学校の設置基準に照らし合わせた監査、また個人情報なども組織のコンプライアンス周知されています。学校評価も学校関係者評価委員会の評価をHPで公開するなど情報の公開に努めています。	
	33 個人情報保護	2		社会的にも個人情報流出のニュースが目立ち、必然的に学園主導ではあるが個人情報の取り扱いの意識向上につながった。また、個人情報の取り扱いに関する情報整理やルールの策定、職員の研修などを整備したことにより管理の透明性を図ることができた。	個人情報管理シート CPA研修 CPO研修 TRUSTe			
	34 学校評価	3		学校評価は適切な手順・方法で実施をされており、評価結果についても学校情報の一部として公開をしている。	HPIにて情報公開している			
	35 教育情報の公開	2		自己点検・自己評価の結果を学校情報としてホームページ上に公開している。情報公開という点では公開手段は現社会情勢に合った方法をとっており、実施内容は問題ないと考えている。	学校ホームページに下記情報を掲示している。 ・学校情報:トップページよりリンク ・職業実践専門課程:トップページよりリンク「別紙様式4」への導線を敷いている。			
10 社会貢献・地域貢献	36 社会貢献・地域貢献	2		原宿で開催されているイベントに協力。アフターコロナの地域活性として積極的に参加していく。国際交流システムが構築されていないことや留学生希望者が少ないこともあるが、国際的な授業機会を増やしていく工夫が長期的に必要なかもしれない。	原宿コラボレーション	2.2	原宿コラボレーションは貴重な体験となり、様々な世代や立場の人と関われる機会になる。今後も継続して頂きたい。地域清掃は是非実行して頂き習慣化することを願う。「原宿」と言う他学園・他校にはない最高の立地環境を活かした学校運営を今後期待したい。イベントなどの表立った面だけでなく、地域清掃などのボランティア活動も近隣の企業・住民の皆様と良好な関係を築くために非常に重要なのではないかと感じた。ボランティアについては、希望者だけではなく全員で行うのが望ましい。また、美容学生ならではの地域貢献ができないか?日本の原宿ではなく、世界の原宿という観点からの仕掛けが重要だと感じる。この数年はコロナ感染の影響で学外の授業や社会貢献に大きな規制があったと思います。老人の介護施設・児童相談所でのボランティア活動はいかがなものでしょうか?直接的には募集には結びつきませんが、将来の経験と社会貢献の影響は大きいと思われたいです。老人と子供が安心できる喜べる環境づくりの貢献を期待します。	
	37 ボランティア活動	1		地域清掃だけでなく、NPO法人との連携を含めて学生が関わる案件を増やす必要がある。	定期的な地域清掃 SDGs			